

# 高津高校のごみ分別について

保健班 早田 真之

## 1. はじめに

僕は、大阪市で古紙・衣類を分別収集することが決まり、それに伴って高津高校でもごみを分別して捨てることが決まったと知った。僕は生徒が分別をどのように感じているのか、どうすれば分別がより効果的になるのか、ということの研究することに決めた。

## 2. 調査内容

### (1) 高津高校におけるごみの分別方法

高津高校ではどのような分別を行っているかを調べるため生徒に配られた分別の仕方を書いたプリントを調べ、さらに保健部の先生に話を伺った。

### (2) ごみ分別に対する生徒の意識と意見

生徒が新たに導入されたごみ分別にどれほどの意識で取り組んでいるのか、またどのような意見を持っているのかを調べるため生徒に10月（回答数70）と12月（回答数74）の二回に分けてアンケートを行った。質問項目は以下のとおりである。

1. 校内で分別しなければならないごみは分別して捨てていますか？
2. 校外から持ち込んだごみは持ち帰って捨てていますか？
3. ごみ分別にはもう慣れましたか？（12月のアンケートのみ）
  - ・ごみ分別に関する意見を自由に書いてください。

## 3. 調査結果

### (1) 高津高校におけるごみの分別方法

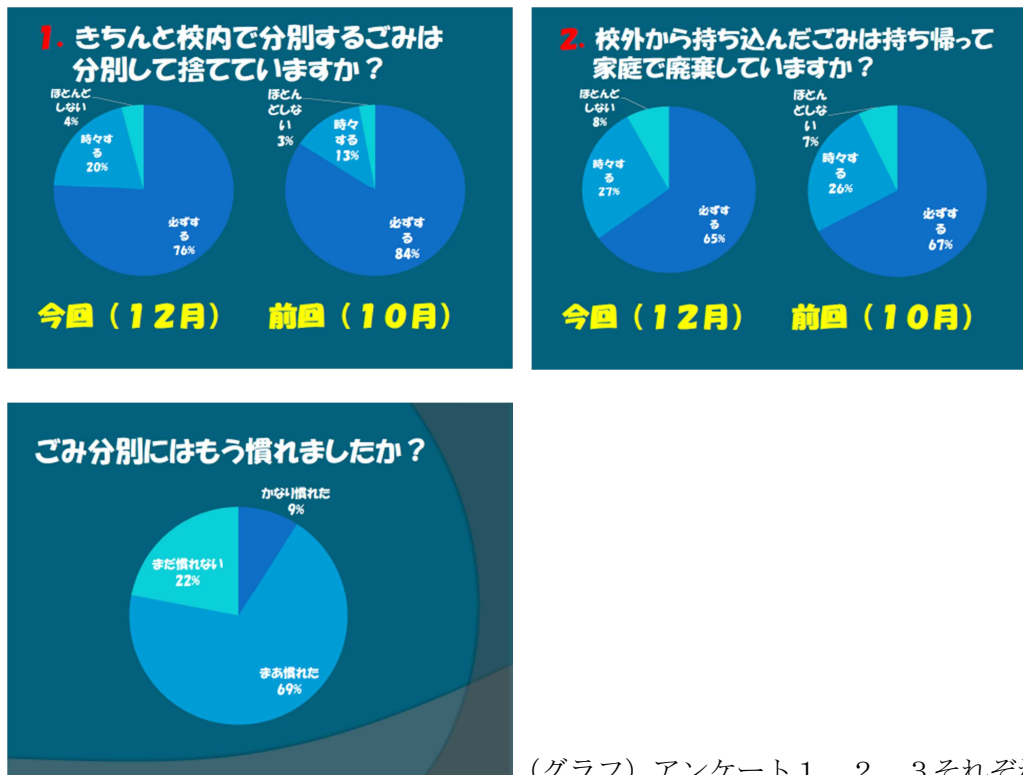
高津高校では再利用が可能な紙類を「リサイクル用紙」その他のごみを「一般ごみ」として分別していることがわかった。また校外から持ち込んだごみやプラスチックごみは持ち帰って捨てなければならないということもわかった。

### (2) 生徒アンケート

生徒のアンケートの結果は

1. の質問では、分別をする人は10月で97%、12月で96%であった。このうち必ず分別をする人は10月で84%、12月で76%であった。
2. の質問では、持ち帰って廃棄している人は10月で93%、12月で92%であった。このうち必ず持ち帰る人は10月で67%、12月で65%であった。
3. の質問では「慣れた」と答えた人は78%であった。しかし、このうち「かなり慣れたと答えた人は9%であった。」

ごみ分別に関する意見の中で最も多かった意見は「ゴミ箱を増やしてほしい」と「プラスチックごみを捨てられるようにしてほしい」だった。ただしこれは分別をきちんとできていない人に多く見られた意見だった。



(グラフ) アンケート1, 2, 3それぞれの結果

#### 4. アンケート結果から

アンケートの結果より生徒には時間が経つにつれて生徒に分別の意識が高まってきていることがわかった。また「プラスチックごみを捨てられるようにしてほしい」「ゴミ箱を増やしてほしい」という意見が多かったことからこれらが実現可能か、またそれが分別をより効果のあるものにするのかを保健部の先生と話をした。

そこでプラスチックごみを廃棄できないのは学校のごみを引き取る業者との契約の関係であることがわかった。さらにプラスチックごみを引き取ってもらうことは可能だが、余計にお金がかかってしまうということもわかった。またゴミ箱が少ないことに関してはゴミ箱があればつつい捨てしてしまう人がいるためわざと少なくしているのだという話も聞いた。ゴミ箱を増やすことも可能だがそれには生徒がごみを減らすという意識を今まで以上に強く持たなければならないということだった。

#### 5. まとめ

アンケートや保健部の先生との話からごみ分別は生徒にとっては不便であったり面倒なことが多いがごみを削減することができれば学校を美しく保つことなどの環境面でもプラ

スになるだけでなく、ごみの処理費用にかかるお金を削減して生徒の活動など（部活動や行事等）に使うことも可能だということがわかった。またお金をかければゴミ箱を増やすことやプラスチックごみを捨てることもできるが、それが正しい判断なのかどうかということを生徒自身で考えて分別に取り組むべきだと思った。

実際にこれらを学校に報告して生徒自身でプラスチックごみやゴミ箱の数などの問題について考える機会を与えてもらい、生徒が決定したごみ分別を行うということをしてほしいと思っている。

## 6. 参考文献

大阪市ホームページ (<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000178072.html>)